



中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

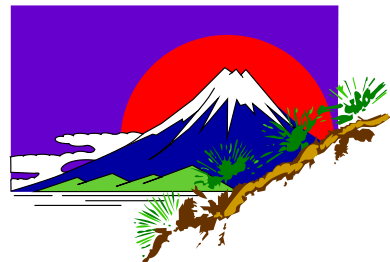
舞鶴市立中筋小学校
学校だより 1月号
令和5年1月10日発行
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>
☎ 75-0372

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、保護者・PTA 役員の皆様、地域の皆様、ご関係の皆様には、本校教育に深いご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

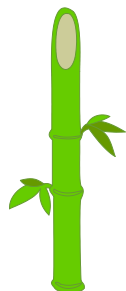
今年も教職員一同、子どもたちのために誠心誠意努力する所存でございますので、引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、2週間ぶりに子どもたちが登校し、本日3学期の始業式を迎えることができました。年末年始は寒さの厳しい日はありましたが、雪が積もることもなく、比較的穏やかでした。今日の出会いを見ていると、子どもたちは寒さに負けず、元気に冬休みを過ごした様子がかがえ、ほっとしています。寒さはこれからが本番となります。健康管理には十分留意する日々が続きます。



節目を迎える

令和5年が始まりました。今年の干支は「卯（うさぎ）」です。「卯」という漢字は、門を無理に押しあけて中に入りこむ様子を表した字で、「冒（おかす）」と同系の語です。中国の書物では、「おおう」を意味する「冒」で、草木が伸び出て地面を覆うようになった状態を表すと解釈されています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているの、十二支の4番目に、茎や葉が大きくなる様子を表す「卯」がくるのです。卯年は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴になります。そんな「卯年」にあやかって今年は子どもたちにとって、植物が大いに茂るように一回りも二回りも大きく成長し、そして、新しい未来に飛躍する年になればと切に願います。



大きくそしてまっすぐに伸びる植物と言え、竹が思い浮かびます。ロシアの作家アントン・チェーホフは、人生を竹に見立てて、「大きな出来事は竹の節であり、節と節の間にある生活の連続こそが人生である」と語ったそうです。「竹」は、他の植物に比べて成長が速いです。一般の樹木だと成長点は根や茎の先端にしかありませんが、竹はすべての「節」に成長点があります。こういう理由からも「節目」の大切さを語るときに、竹の節目に例えられるのです。

『3学期』は、大きな節目が2つあります。1つは、新しい年を迎えた節目。2つ目は、今の学年が終了する節目。2つともとても大切な節目です。つまり、大きく成長するタイミングなのです。チェーホフが語ったように、節と節の間にある学校生活の連続が、子どもたちに竹のような“しなやかで折れにくい心と体”を身に付けさせます。それをしっかり自覚しながら、短い3学期間の貴重な一日一日を大切に、1年間の学習の成果が得られるような3学期にした上で、子どもたちがしっかりとした節をつくり、新しい学年への歩みを進めていけるよう精一杯努めてまいります。

今年も学校と保護者、地域の皆様が“子どもの成長”を真ん中に据え、同じ目線、方向を向いて、共に歩んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同



見守り隊の皆様

～今年もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします～

中筋校区ではたくさんの方々に安全見守り隊に登録していただき、子どもたちの安全を見守る活動をしていただいております。今日から3学期が始まりました。地域・保護者の皆様方、今年も子どもたちの安全・安心の見守り活動をよろしくお願いいたします。

防犯推進委員の皆様方には、お忙しい中、「防犯パトロール活動」を特別にお世話になっていますこと感謝申し上げます。今年もどうかよろしくお願いいたします。

